

# 自然観察 エコマップ

しぜんかんさつ

たくさん見つけて  
友達に自慢しちゃおう



**01. エナガ**  
ピンポン玉に長い尾がついたような小さな小鳥。群れでジュリジュリと鳴き交わしながら、虫をさがして飛び回っているよ。



**02. コケラ**  
木の幹や枝をコンコンついで虫をさがし、ギーツキツキと鳴くスズメくらいの大きさのツツキ。世界中で日本にしかないよ。



**03. シロハラ**  
秋が深まるころ、シベリアなどから冬越しにくるツグミのなかま。ガサガサと大きな音を立てて落ち葉の下のエサをさがしているよ。



**04. ジョウビタキ**  
シベリアから冬越しにきて、一羽ずつでくらししているよ。ピンヒット鳴いて尾をふるわせるのが特徴。(写真はオス。)



**05. ヒヨドリ**  
年中いるけれど、冬は北のほうからやってきた群れも加わって、ヒヨビヨにぎやか。木の実や、ツバキなど花の蜜も大好きだよ。



**06. メジロ**  
千の柱にはたくさんいて、チュルチュル鳴きながら群れで飛び回っているよ。日本でいちばん小さな鳥の二つなんだ。



**07. モズ**  
鋭いくちばしとさきづめをもち、小さな猛禽とよばれているよ。えものは昆虫、トカゲなどの小動物。冬は一羽ずつすごすんだ。



**08. ヤマガラ**  
ニョーニョーとごった煮で鳴くよ。昆虫のほか、トンリなどかたい木の実は好き。穴に隠れておいて、後で見つけて食べたりますよ。

**オスとメス、なぜ色が違うの?**  
野鳥のオスが目立つ色をしていることが多いのは、メスの気をひくためと考えられているよ。鳥は人間よりも色を見分ける能力がすぐれているんだ。

**なんでクリはとげに守られてるの?**  
種を食べられないよう守るためにとげがあるんだよ。クリにとっては土に落ちて芽が出て子孫を残したいからなんだ。



**12. クヌギ**  
実は大きくてどんぐりともよばれているよ。幹から甘い液が出てそれにカブトムシやクワガタ、危険なおオスマバチも集まるから注意してね。



**13. クリ**  
ゆでたり焼いたりして食べるとおいしいクリ。ケーキ屋さんでよく見かけるモンブランはこのクリをたくさんつかったケーキなんだよ。



**14. ゲンノショウコ**  
白い色からムラサキ色の花を夏に咲かせるよ。根・葉・花など乾燥させて煮詰めて飲むと体によくて漢方薬として使われているんだよ。



**17. ヒガンバナ**  
夏の終わりから秋の初めにかけて赤い花を咲かせるよ。球根には毒があるからそういった植物は有毒植物といわれているよ。



**18. マテバシイ**  
クヌギと同じでこれもどんぐり。細長いどんぐりの中では最大だよ。粉状にしてクッキーの生地に混ぜて食べることもできるんだよ。



**19. オオカマキリ**  
日本最大のカマキリ。白当たりのよい草原や林縁などに生息しているよ。バッタ、チョウなどの昆虫を捕らえて食べるんだ。



## 観察時期

かんさつじき

いつ頃見られるか  
チェックしよう

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
01. エナガ	—	—	—	—	—	—	—
02. コケラ	—	—	—	—	—	—	—
03. シロハラ	—	—	—	—	—	—	—
04. ジョウビタキ	—	—	—	—	—	—	—
05. ヒヨドリ	—	—	—	—	—	—	—
06. メジロ	—	—	—	—	—	—	—
07. モズ	—	—	—	—	—	—	—
08. ヤマガラ	—	—	—	—	—	—	—
09. アケビ	—	—	—	—	—	—	—
10. アサマリンドウ	—	—	—	—	—	—	—
11. アラカシ	—	—	—	—	—	—	—
12. クヌギ	—	—	—	—	—	—	—
13. クリ	—	—	—	—	—	—	—
14. ゲンノショウコ	—	—	—	—	—	—	—
15. シマジタムラソウ	—	—	—	—	—	—	—
16. ツクシハギ	—	—	—	—	—	—	—
17. ヒガンバナ	—	—	—	—	—	—	—
18. マテバシイ	—	—	—	—	—	—	—
19. オオカマキリ	—	—	—	—	—	—	—
20. オオセンチコガネ	—	—	—	—	—	—	—
21. キタテハ	—	—	—	—	—	—	—
22. クルマバッタ	—	—	—	—	—	—	—
23. テングチョウ	—	—	—	—	—	—	—
24. トゲヒシバツタ	—	—	—	—	—	—	—
25. ナツアカネ	—	—	—	—	—	—	—
26. ノシメトンボ	—	—	—	—	—	—	—
27. マツムシ	—	—	—	—	—	—	—
28. ルリタテハ	—	—	—	—	—	—	—

**アカトンボって何種あるの?**  
日本ではアキアカネなど21種のアカトンボが生息しているんだ。千の柱ではナツアカネ、ノシメトンボなど4種のアカトンボが見られるよ。



**25. ナツアカネ**  
アカトンボのなかま。アキアカネに似ている。夏の間は黄褐色。秋になると成熟して全身が真っ赤になるんだよ。水辺で普通に発見されるよ。



**26. ノシメトンボ**  
アカトンボのなかま。はねの先端が赤褐色。池や、水田といった、水辺で普通に発見されるよ。



**27. マツムシ**  
スズメシとともに秋に鳴く虫の代表。スズメなどの草食にすみ、チンチロリンと美しい声で鳴くんだよ。



**28. ルリタテハ**  
林の中を飛ぶ姿が見られ。クヌギやコナラなどの樹液に集まるよ。幼虫はサルトリイバラの葉を食べ、成虫のままだを乗り越えるんだ。

### 注意

スズメバチ、ダニ、マムシなど危険な生物も生息しているよ。やぶの中には入らないようにね。野外では、長袖、長ズボン、帽子を着用して、観察が終わったら入浴して肌にタニが付着していないか確認してね。動植物は採取しないで、鳥虫などを観察した後は、そっと返してあげよう。野鳥を探すときは音をたてないでしよう。声で居場所がわかることが多いよ。

監修  
中島 千穂・木原 春代・小坂 聖香・河北 珂